

# 特定非営利活動法人 WE 21 ジャパン・伊勢原

## 2018 年度 事業活動報告

### 1. 事業活動点検・評価

ショップの売上額は、毎年減少しています。“民衆支援のチャリティショップ”という WE ショップの意義や社会に対する貢献をよりアピールしていくことが必要と考え、努力してきましたが、更なる取り組みを重ねていかねばなりません。

今年度の特徴としては、円滑な組織運営と基盤充実のために県指定 NPO 法人格取得をめざして、書類の作成を進め、9 月 19 日付けで受理され、2019 年 3 月 10 日に認証がおりました。

また今年度の大きな事件としては、11 月 4 日深夜に勝手口ドアが開けられ金庫の盗難がありました。店舗保険による保険金が支給され大きな損害はなかったものの、管理体制を反省し見直しました。

### 2. 事業活動報告

#### (1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース事業）

##### ① 「WE ショップいせはら」の運営を行いました。

- ・ 市民から寄付された提供品を整理・販売しました。
- ・ エコものセンターの物流（キャリー便）を利用して、提供された品物を季節ごとに仕分けして、季節に合った品物を販売しました。
- ・ 今年度も前年度に引き続き売上額が減となりました。その背景には、不安定な気候の変化に伴い、季節の移り変わりがはっきりせず、季節感が薄れている中で、お客様の購買力が低下したこと、また、固定客の高齢化が進んだことや新規のお客様が増えなかったことも要因として考えられ、今後の検討課題になりました。
- ・ 対策として、閉店した近隣の WE ショップから購入したテーブルを活用し、お客様が居心地良く、また楽しんでいただけるような空間レイアウトを工夫し、個性的な雑貨や新しく制作されたリメイク品などを配置しました。
- ・ 10 月まではショップスタッフ 3 名で活動しましたが、11 月以降は 2 名で業務を進めました。2 名のスタッフでは埋められないシフトが生じた場合には、理事のメンバーの協力によって進めました。
- ・ 今年度から、理事のボランティアメンバーを中心としてボランティアミーティングを 5 月と 10 月に開催しました。曜日の違うボランティア同士の交流もかねて、気軽に意見交換ができる場として有効でした。
- ・ ボランティアメンバーと日々協力して業務を進めましたが、曜日によってはボランティアの人数に差がある状況です。今後ボランティアの募集を心掛けていく必要があります。

		昨年度実績
営業日数：	281 日	(287 日)
売 上：	5,383,270 円 (月平均 448,606 円)	(5,764,897 円)
来客数：	延 9,000 人 (月平均 750 人)	(9,526 人)
提供者数：	延 1,934 人 (月平均 161 人)	(2,033 人)
ボランティア：	延 759 人 (月平均 63 人)	(1,009 人)

・ 次の企画を行いました。

2018 年	6/23		
	7/23~7/25	夏物半額セール	(売上金額 73,080 円)
	9/6~8	アクセサリ&バックフェア	(売上金額 75,860 円)
	10/16,17	貧困なくそうキャンペーン	(売上金寄付 35,400 円)
	11/29~12/1	冬物半額セール	(売上金額 139,300 円)
	12/25・26	年末セール	(売上金額 118,890 円)
2019 年	1/7	初売り (お年玉チケットを配布)	
	2/18~20	和物フェア	(売上金 126,470 円)
	3/11	復興支援デー	(売上金 10,780 円)
	3/25~30	G パンフェア	(売上金の詳細は不明)

② 寄付された品物で販売に適さないものは適正に処理をしました。

- ・ 衣類・カバンは、WE 2 1 ジャパンが提携している W. C o キャリーの運送に託し、(株)ナカノのファイバー工場へ搬入しました。
- ・ 伊勢原市に一般廃棄物事業系ごみ届け出を行い、不燃ごみ・可燃ごみ・資源・容器包装プラスチックは、市の集積場所に分別して排出しました。
- ・ 綿製品のファイバーの一部は、小規模多機能施設「風の丘」でウエスとして利用していただきました。(1 袋 200 円で売却)
- ・ むいぐるみは、5 月に環境展、11 月のサポセンフェスタの景品として寄付、また、障がい者地域作業「工房小野橋」で活用していただきました。

③ 資源の活用や民際支援のために利用できるものの集積場所としてショップを活用しました。

- ・ ペットボトルのフタの収集事業 (再生業者に売却しポリオワクチンの購入し、海外に送る) については、市役所の事業停止に伴って、1 月までで収集を中止しました。
- ・ 世界の子どもたちのために使われている「ユニセフ外国コイン募金」の収集に協力しました。

④ リメイクチームが活動しました。

毎月第 1 月曜日午後、石田自治会館にて行いました。10 月にはショップでリメイク作品展を行いました。

5 月 7 日	9 名	スヌード、スカーフベスト
6 月 4 日	8 名	診察券入れ
7 月 2 日	8 名	同上
9 月 3 日	8 名	口金ポシェット、リボンストラップ

10月8日	8名	リボンストラップ、リメイク作品展準備
10月9日～11日		リメイク作品展
11月5日	8名	2口ポーチ
12月3日	8名	2口ポーチ、リボンストラップ値付け
2月4日	6名	亀ポーチ、和物フェア準備
3月11日	8名	亀ポーチ、ふくろうブローチ、ネックレス

- ⑤ スムーズなショップ運営と事業経営のため、WE 2 1 ジャパン主催の講座等に参加し、情報収集に努力しました。

県央ショップスタッフ連絡会 6月8日、9月14日、2月8日

《日時》	通年
《場所》	伊勢原市石田（WEショップいせはら）
《従事者》	理事 9名、ボランティア 実人数 22名
《受益対象者》	主に伊勢原市石田周辺の在住の市民 顧客数 9,000名、 寄付者数 1,934名
《支出額》	4,922,314円

## (2) アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業 (民際支援)

### ① WE 2 1 ジャパン・伊勢原の支援事業

2017年度の民際支援費は、国外に219,307円、国内に98,974円、合計318,281円（前年度282,024円）で、前年度より約36,000円の増額となりました。

支援先・金額等の討議決定は、理事会で行いました。また支援先の担当者を決めて分担して対応することとしました。

#### ●2018年9月10日

団体名：ユナイテッド・アース

国名：日本（西日本水害被災地、特に愛媛県宇和島市の被災地域）

金額：11,154円：店頭募金

内容：2018年8月に発生した西日本水害の被災者の支援活動

継続：初めて

#### ●2018年9月20日、2019年3月15日

団体名：NPO法人ザ・ピープル

国名：日本（福島県）

金額：54220円

売上金（2018年9月11日：24,440円、2019年3月11日：10,780円）

店頭募金 19,000円 計 54,220円

内容：東日本大震災復興支援（福島県いわき市で古着のリユース・リサイクル事業を行なっている法人の活動、震災後は地域農業振興のためコットンを栽培して綿製品の生産をめざすコットンプロジェクトのために）

継続：7年目

●2011年11月19日

団体名：日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）

国名：イラク・シリア・日本（福島県）

金額：11,600円

内容：チョコ募金（イラク・福島の子ども達とシリアの難民を支援するための募金）に協力

継続：3年目

●2018年11月30日

団体名：フードバンクかわさき

国名：日本（川崎市・神奈川県）

金額：33,600円（10月16日・17日の売上金32,100円、店頭募金500円）

内容：身近な貧困家庭に対して、食物の寄付を集めて再配分する活動

支援金の他に、賞味期限内の食料品を集め、段ボール3箱分を送付した。

継続：3年目

●2019年3月6日

団体名：コーディネエラ・グリーン・ネットワーク（CGN）

国名：フィリピン

金額：50,000円（助成金）

内容：ルソン島の山岳地域コーディネエラ地方で、土砂災害を防ぐとともに現地の人たちに現金収入が得られるようコーヒーの森づくり（アグロフォレストリー）を指導している。

継続：8年目

●2019年3月6日

団体名：FGM廃絶を支援する女たちの会（WAAF）

国名：ガーナ、タンザニア

金額：70,000円（反FGM基金40,000円、日本支部30,000円）

内容：アフリカの少女たちの健康と人権を守るため、女性器切除という悪習を廃絶するための活動。2018年度の反FGM基金交付先は、タンザニアWOWAP（対話と演劇を通じたFGM廃絶キャンペーン）、ガーナCDIという報告があった。

継続：15年目

●2019年3月6日

団体名：シュントック財団

国名：フィリピン

金額：50,000円（助成金）

内容：フィリピンのベンゲット州ルボ村で、無責任な鉱山開発のために破壊された土地の環境回復のための植林と環境活動

継続：3年目

●2019年3月8日

団体名：日本国際ボランティアセンター（JVC）

国名：アフガニスタン

金額：37,707円（助成金30,000円、アジア・友だち・みらい貯金7,707円）

内容：アフガニスタンにおける地域教育/識字アクション！（地方部における若者と成人の識字教室および普通教育推進事業）、ピースアクション（平和教育と地域住民による平和の取り組み）

継続：2年目

② フェアトレード品等の販売

- ・ジンジャーティ（フィリピン）、コーヒー豆（フィリピン）、オリーブ石けん（パレスチナ）の販売をしました。
- ・チョコレート、ドライフルーツ、カレーパウダー等を「第3世界ショップ」から卸購入し販売しました。
- ・東北被災地支援として、潮風商店（宮城県石巻市）から購入し物産品を販売しました。

③ 支援の充実のためWE21ジャパン主催等の講座や学習会、NGO等の報告会に参加し、情報収集に努力しました。（主催の記載がないものは、WE21ジャパン主催）

5月19日 WE21 ジャパン総会記念講演会「メディアは何のために存在するか？」

講師：望月衣塑子さん（1名参加）

8月24日 フードバンクかながわ学習会（1名参加）

9月7日 3カ国民衆会議事前学習会（1名参加）

9月23日 教育問題学習会 講師：寺脇研さん（2名参加）

10月4日 コーヒーの森づくり JICA 事業報告会（1名参加）

10月12日 憲法講演会「檻の中のライオン」（主催：WE さがみはら）（1名参加）

11月19日 CGN（反町眞理子さん）報告会（2名参加）

1月25日 JVC アフガニスタン報告会（1名参加）

1月31日 支援ハンドブック説明会（1名参加）

《日時》	通年
《場所》	アジア・アフリカ地域、川崎市、いわき市、石巻市、宇和島市
《従事者》	理事 9名
《受益対象者》	アジア・アフリカ地域の団体 神奈川県内、福島県いわき市内、宮城県石巻市内、愛媛県宇和島市内
《支出額》	427,402円

### (3) 地域市民の国際的な意義の自覚を促進する事業（共育活動）

支援事業・資源循環事業を推進していくうえで必要な情報を共有する場として「WE 講座」を開催しました。

#### ● 2018 年 5 月 24 日（木）

ワークショップ「今日はフェアトレードの日!？」

講師：WE21 ジャパン開発教育チーム（浪瀬さん、渡部さん、小橋さん）  
WE 支援担当（小池さん）

参加者：18 名

WE 2 1 ジャパンで作成中の開発教育教材を用いてワークショップ形式で、フェアトレードに関して学んだ。具体例としてフィリピンの住民が作っているジンジャーティの生産現場の説明を聞いた。

#### ● 2018 年 6 月 1 日（金）

県央合同 WE 講座「おしどりマコ&ケン」講演会

参加者：5 名（伊勢原より）

福島原発事故後、東電の記者会見、省庁や地方自治体の会見、裁判、議会傍聴、学会等を徹底的に取材、現場でも調査した情報の、お二人の軽妙なトークライブ。

#### ● 2018 年 9 月 25 日（火）

「フードバンクかわさきの活動について」

講師：高橋実生さん（フードバンクかわさき代表）

参加者：17 名

貧困家庭に食品を届ける活動の報告と現在の貧困の現状を学んだ。

#### ● 2018 年 11 月 25 日（日）

WE21 ジャパン、WE21 ジャパン座間、WE21 ジャパン伊勢原の共催（海老名文化会館）  
「3 カ国民衆会議 WE サイドイベント」

講師：モザンビークの女性 2 名、渡辺直子さん（JVC 南アフリカ担当）、  
船田クラークさん（3 カ国民衆会議実行委員）

参加者：4 名（伊勢原より）

ブラジルとモザンビークで土地の大規模活用として日本への輸出用農作物を生産しているが、現地では生活を壊して行われており反対している現状を学んだ。特にこの事業は戦時中の満州での開発をモデルとしていることは大きな学びであった。

《日時》	通年
《場所》	WE ショップいせはら
《従事者》	理事 9 名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	18,154 円

#### (4) この法人の事業の広報普及を図る事業（広報活動）

- ① 1年遅れましたが、15周年を記念して団体のリーフレットを作成しました。
- ② WE 21 ジャパン・伊勢原のHPに活動予定や報告を掲載しました。
- ③ WE 21 ジャパン・伊勢原の活動を伝える「WEニュース」を発行しました。  
今年度は年2回のみでの発行となりました。各300部印刷し、会員や関係団体と、店頭にてお客様に手渡しました。

№. 54 (5月7日発行)

WE 講座「今日はフェアトレードの日!？」案内  
2017年度の支援先と支援金額の紹介

№. 55 (9月5日発行)

WE 講座「フードバンクにご協力を！」案内  
貧困なくそうキャンペーン（国内の貧困について）

「WEニュースCM版」は、随時市内に配布しました。（約3,000部配布）

- ④ ショップで販売する衣類に値札と共に、支援先を書いたタグを付けました。
- ⑤ 店内の掲示・パンフ類は、国内外の支援先の情報を掲示しました。キャンペーン、WE 講座、セール等の案内の掲示を行ないました。

《日時》	通年
《場所》	WE ショップいせはら
《従事者》	理事 9名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	3,444円

### 3. 事業を進めるための組織活動

#### 1) 県指定NPO法人格の取得

県指定NPO法人格取得をめざして書類の作成を進めました、9月19日付けで受理印をいただき、2019年3月22日に認証がおりました。

#### 2) 組織活動

- ・理事会は、毎月、原則として第1土曜日午前で開催し、計画に沿って提案・討議し、実行しました。
- ・会員数は33名となりました。新規のボランティアの方に積極的に入会を募りました。（目標は40名）

#### 3) WE 21 ジャパンおよびWE 21 地域NPOとの連携

- ・WE 21 ジャパンの団体会員になっています。（団体会費50,000円）
- ・WE 21 ジャパンとの契約に基づき、年額525,977円（物流事業費346,977円、商標使用料120,000円、活動推進費59,000円）を、WE 21 ジャパンに事業委託しました。（昨

年度は年額 518,106 円)。WE 2 1 ジャパンでは、WE 2 1 地域 NPO の中間支援組織としての活動経費（人件費、事務所費、広報、情報の収集・分析・発信）、および物流機能と物流管理などの事業を行っています。

- ・ 代表・会計担当者・スタッフ・ボランティアが、WE 2 1 ジャパン理事会、グループ会議、WE フェスタ等に出席・協力しました。

#### 4) 地域および他団体との連携

- ・ 伊勢原養護学校伊志田分教室の生徒 2 名のインターンシップ研修に協力しました。4 月から、長期休業の期間を除き、毎週火曜・木曜の 10 時より 12 時まで、担当の教師と連絡を密にして、トラブルもなく協力できました。
- ・ 市内の環境に関わる活動を行っている団体の連携組織である「いせはら環境市民ネットワーク」（エコネット）に参加しました。

5 月 13 日 環境展に出店参加

11 月 17 日 ストップ温暖化展出店参加

2019 年 3 月 13 日 見学・研修会（(株)ナカノ秦野工場、県環境科学センター）

3 月 23 日 学習会「新東名高速道路建設に対する環境対策について」

- ・ 伊勢原市のクールチョイス事業の「クールシェア」「ウォームシェア」の場所として、ショップを提供しました。
- ・ 市民活動サポートセンターに登録して、印刷機等を利用しました。
- ・ 石田商工振興会に加入しています。以下の行事に参加・協力しました。
  - 8 月 12 日 納涼祭（子安神社）
  - 1 月 13 日 どんど焼き（城ノ腰公園）
- ・ 石田自治会に加入しました。

#### 5) 納税額

2018 度の税金は 189,800 円（前年度は 181,500 円）を支払いました。

《日時》	通年
《場所》	WE ショップいせはら
《従事者》	運営委員 9 名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	199,701 円